

平成21年度 11月分NGO相談員対応結果

●今月の照会・相談対応全体に対する所感等(注:具体的に記載して下さい。)

11月は岡山でNGO相談員会議があるということで、テーマのひとつでもある「ESD」について学び、ESD的な視点で、幅広く相談業務にのるよう心がけた。つまり、相談の内容をいろいろな視点から眺めながら、いろいろな立場から考えてゆくことによりアドバイスにも深みができようと思われた。今月は、NPO・NGO業種へ就職やライフワークにしたいという相談が多かった。相変わらずの社会の不況と、企業社会への不安からもNPO・NGOへの関心が高まっているのだろうと思われる。一方で、NPO・NGOの経済的な心配事も拭い去れないようで、財政基盤作りについても強い関心があるように思われた。相談に来た人への影響力から考えても、重要なターニングポイントでのアドバイスになるので、的確な相談業務を行ってゆきたいと思われた。相談件数も増えてきているので的確に対応してゆきたい。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、特筆すべき照会・相談事項を3件記載下さい(3件以上ある場合、追加して記載下さい。)

1	ファンドレイジングについて	
相談内容	NGO活動における財政基盤作りについてどのように進めたらいいか	
対応内容	まずは寄付する側の立場にたって考えること。自分たちの活動ミッションがどこにあるのかということについて考えてみる。以上の視点から見つめなおし、寄付したくなるのかどうかを考えてもらう。その上で、優良事例として、いくつかの団体のファンドレイジングの取り組みについて紹介をした。	
特筆した理由	①最近、財政の健全化に向けたファンドレイズについての問い合わせが増えたため ②何か始めたいという退職者がNGOへ関心を寄せているため	

2	NPO・NGO分野で働きたい	
相談内容	営利を求めない形の仕事をしたいと考えている。社会人としてやってきたが、全くNPO・NGO分野は知らないなので、どのようにしたらいいのか教えてほしい。	
対応内容	今までの社会人としてやってきたこと、あるいは自分の関心の高いところがどこにあるのかについて確認をもらう。また企業としてのCSR、あるいは社会起業家としての活動など、今いるところから一気に変わらなくともいろいろな可能性があることについて説明をした。	
特筆した理由	①世の中の不況からか、新天地としてのNPO・NGOを求める人が多くなっているため ②NGO業界の社会的な位置付けが高く認識されてきているように思われるため	

3	ファシリテーターとして活動したい	
相談内容	開発教育や環境教育で、人を育てるファシリテーターとして活動をしてゆきたいと考えているが、どのようなことをしていったらいいか。	
対応内容	基本的には、まずファシリテーターとしての役割についてしっかり理解をすることが必要である。また、様々な参加者と共に作り上げてゆくわけであるから、ある程度の社会経験も必要であり、また何よりファシリテーターの経験を積み上げること。また、ファシリテーターとしての資質を上げるために、いくつかの講座を紹介した。	
特筆した理由	①会議の進行役のみならず、組織を動かす意欲のある人が多いため ②ファシリテーターを様々な業種で取り入れたいと思っている傾向が見られたため	